

## スマートインターチェンジの整備状況（2017年度）

NEXCO中日本は、高速道路の有効利用や地域の活性化を促進するためスマートインターチェンジ（以下、スマートIC）の整備を着実かつ効率的に進めています。

2017年度は、6カ所のスマートICが開通し、現時点で全34カ所のスマートICがご利用いただけるようになりました。また、2018年度以降の開通を予定している箇所についても、地域の皆さまのご期待に応えられるよう事業を一層推進してまいります。

### ■2017年度に開通したスマートIC

道路名	スマートIC名称	形式	開通日時
中央自動車道	おぐろがわ 小黒川スマートIC	SA・PA 接続型	2017年9月30日（土）15時
中央自動車道	こまがたけ 駒ヶ岳スマートIC	SA・PA 接続型	2018年3月17日（土）15時
舞鶴若狭自動車道	みかたごこ 三方五湖スマートIC	SA・PA 接続型	2018年3月24日（土）13時
東名高速道路	もりやま 守山スマートIC	SA・PA 接続型	2018年3月24日（土）15時
名神高速道路	あんばち 安ハスマートIC	本線直結型	2018年3月24日（土）16時
北陸自動車道	のみねあがり 能美根上スマートIC	本線直結型	2018年3月25日（日）15時

⇒2017年度末時点で、34カ所のスマートICが開通。（位置図は別紙1参照）

### ■2018年度以降に開通を予定しているスマートIC

全23カ所（別紙1参照）

### ■スマートICとは

スマートICは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、通行可能な車両（料金の支払い方法を、ETCを搭載した車両に限定しているインターチェンジです。利用車両が限定されているため、簡易な料金所の設置で済み、料金徴収員が不要なため、従来のICに比べて低コストで導入できるなどのメリットがあります。



本線直結型



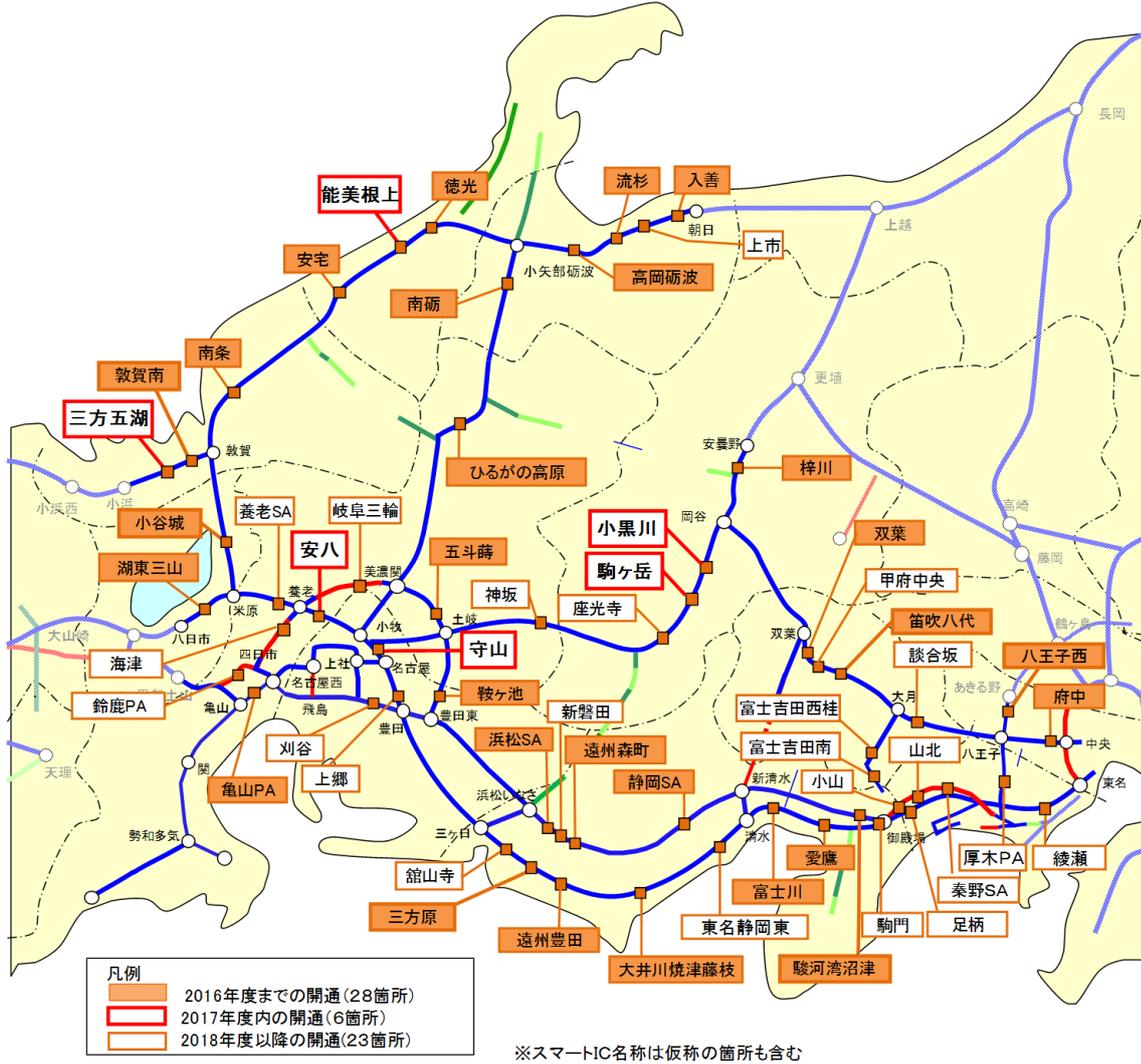
SA・PA接続型

〔図の出典：国土交通省HP〕

### ■スマートICの整備効果

高速道路の利便性向上、地域の活性化、周辺道路の渋滞解消 等（別紙2参照）

【NEXCO中日本管内のスマートIC位置図】



【2018年度以降に開通を予定しているスマートIC】

名称	開通予定年度
<b>E1 東名高速道路</b>	
館山寺スマート	2018
足柄スマート	2018
駒門スマート	2019
東名静岡東スマート	2019
綾瀬スマート	2020
上郷スマート	2020
<b>E1A 新東名高速道路</b>	
新磐田スマート	2020
秦野SAスマート	2020
山北スマート	2020
小山スマート	2020
<b>E1 名神高速道路</b>	
養老SAスマート	2018
<b>E1A 新名神高速道路</b>	
鈴鹿PAスマート	2018

名称	開通予定年度
<b>E19・E20・E68 中央自動車道</b>	
富士吉田西桂スマート	2018
談合坂スマート	2019
甲府中央スマート	2019
座光寺スマート	2020
神坂スマート	2021
<b>E8 北陸自動車道</b>	
上市スマート	2020
<b>C4 首都圏中央連絡自動車道(圏央道)</b>	
厚木PAスマート	2018
<b>E68 東富士五湖道路</b>	
富士吉田南スマート	2020
<b>E1A 伊勢湾岸自動車道</b>	
刈谷スマート	2021
<b>C3 東海環状自動車道</b>	
岐阜三輪スマート	※
海津スマート	※

開通予定については、用地取得等の状況や施工上の条件変化等により、変更となる場合がありますので、ご注意ください。

※国土交通省と共同で事業を実施する建設区間にかかるスマートICの開通予定年度については、開通時期が見通された段階で改めてお知らせいたします。

【スマートICの整備効果】

地域の活性化

【能美根上スマートICの例】スマートICの開通により、輸送時間の短縮、輸送コストの削減が図られ、ヒト・モノの交流拡大による地域産業の活性化に大きく貢献します。

**【現在】**  
 能美市には、海岸部や手取川沿いに工業地があり、約7割の企業が資材、製品等の輸送に北陸自動車道を利用しています。

**【スマートICの設置後】**  
 スマートICとの連結における輸送時間短縮により、物流ネットワークが強化されることで、工業団地の魅力アップにつながり、既往企業の支援や新規企業の進出が期待されます。

【出典：能美市HP】



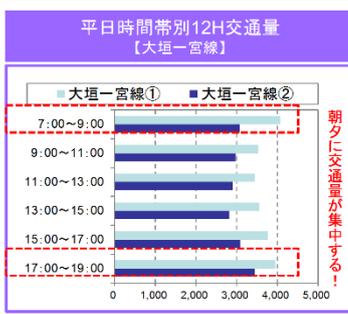
周辺道路の渋滞解消

【安八スマートICの例】揖斐川・長良川渡河部の交通が分散し、主要渋滞ポイントの解消が期待されます。

**大垣一宮線(大垣大橋～羽島大橋)**

- 利用交通量：26,133台/日 (H17センサス)
- : 27,489台/日 (H22センサス)

大森交差点  
 渋滞損失時間 381,000人時間/年(H23)  
 出典：民間プローブデータ(国土交通省集計)

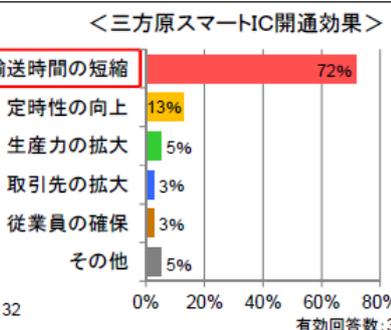
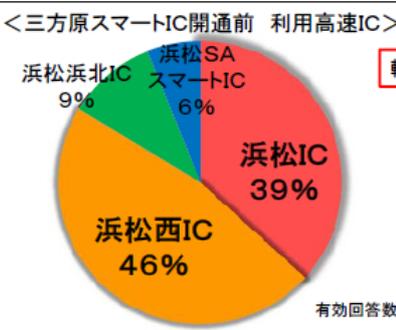


【出典：安八町HP】

高速道路の利便性向上 (アクセスの向上)

【三方原スマートIC(平成29年3月18日開通)の例】浜松市内トラック運送会社へのアンケート調査

- 三方原スマートICを利用する運送会社の約9割が東名高速道路隣接ICからの転換
- 三方原スマートICを利用する運送会社の約7割が輸送時間の短縮を実感



【トラック運送会社 利用者の声】

**【A社】**  
 ・三方原スマートIC開通前は主に、隣接である浜松IC、浜松西ICを利用していました。  
 ・三方原スマートIC開通により、輸送時間の短縮を図ることができ、トラック運送の生産性向上に寄与しています。

**【B社】**  
 ・現在は三方原スマートICを利用していますが、今後利用することを検討します。

【出典：浜松市HP】